

大豆島地区の皆様へ

広域ごみ焼却施設に係る

環境影響評価の説明会

長野広域連合では長野市に建設する新しいごみ焼却施設について、大豆島松岡二丁目を候補地として計画をしています。

環境影響評価(アセスメント)についてご理解を深めていただくため、説明会を開催いたしますので、大勢の皆様お誘いあわせの上、お出かけください。

- ・ **と き** 平成20年2月23日(土)
午後7時から8時30分まで
- ・ **ところ** 大豆島公民館 2階会議室

○内容

- ・ 現況調査について
- ・ 予測と評価について
- ・ 環境影響評価の進め方について 他

- 主催 大豆島地区区長会、広域ごみ焼却施設建設・まちづくりに関る大豆島地区協議会、長野広域連合、長野市

お問い合わせ先 区長会事務局(大豆島支所) TEL. 221-4190
長野広域連合環境推進課 TEL. 252-7036

<環境影響評価とは・・・>

環境影響評価とは、ごみ焼却施設などの建設を行う際に、あらかじめこの事業が環境へ及ぼす影響について科学的な調査、予測及び評価を行い、施設の建設や稼働によって環境に与える影響を総合的に評価することをいいます。

なお、環境影響評価の結果は、施設建設の可否を判断するための一つの材料です。環境影響評価の実施の了解が、施設建設の同意となるものではなく、この結果等に基づいて、最終的な判断をすることになります。

環境影響評価の説明会

長野広域連合

平成20年2月23日

ご説明の内容

1. 施設建設計画の概要

2. 環境影響評価について

- ・ 環境影響評価とは
- ・ 現況調査について
- ・ 予測と評価について
- ・ 方法書について
- ・ 長野県条例の手続きの流れについて

1 . 施設建設計画の概要

2

ごみ処理の広域化と施設整備計画

管内市町村から発生する可燃ごみを、広域的に適正に処理・処分することを目的として、次の施設を整備します。



3

焼却施設の現況と計画

現況

長野市清掃センター
450トン/日

須坂市清掃センター
50トン/日

葛尾組合焼却施設
80トン/日

北部衛生クリーンセンター
30トン/日

合計610トン/日

計画

A焼却施設(1施設目)

施設規模: 450トン/日

B焼却施設(2施設目)

施設規模: 100トン/日

合計550トン/日

平成15年度実績に対する平成22年度のごみ減量目標

家庭系可燃ごみ **10%削減**

事業系可燃ごみ **15%削減**

4

焼却施設整備の基本的考え方

安全への配慮

優れた処理性能

環境にやさしい

エネルギーの利用

安定した稼働

経済性

周辺環境との調和

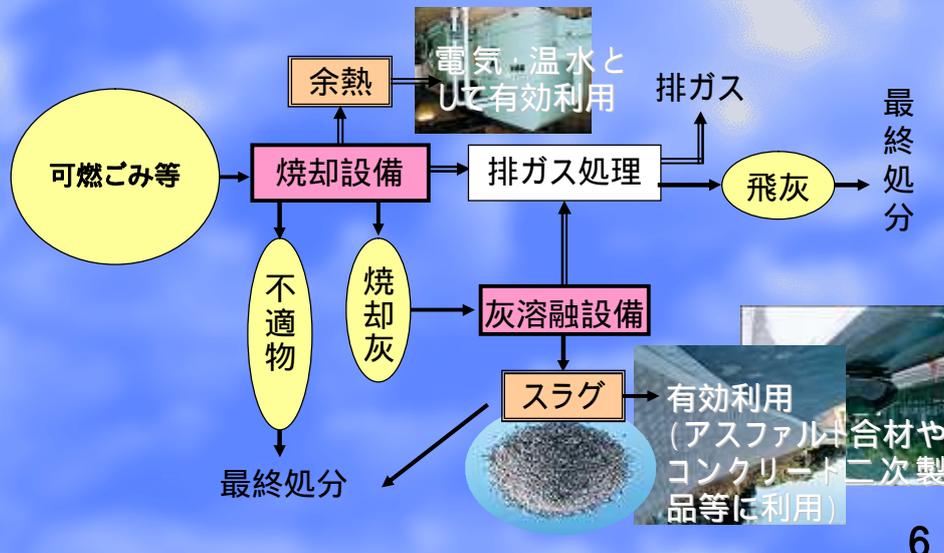
環境教育の起点

具体的な施設整備について検討中

5

A 焼却施設の概要

ストーカ式焼却炉+灰溶融炉



2. 環境影響評価について

あらかじめ事業が環境に及ぼす影響について
科学的な調査・予測・評価

環境保全のための措置を検討

施設の建設や稼働による環境影響を総合的に評価

より環境にやさしい事業計画にします

7

環境影響評価の位置付け

環境影響評価の結果は、施設建設の可否を判断していただくための一つの材料です。

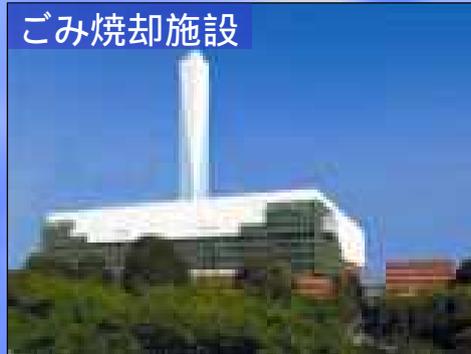
環境影響評価の実施を了承いただくことは、施設建設への同意とは別のものです。
あらためて環境影響評価の結果等に基づいて、最終的なご判断をお願いすることになります。

8

環境影響評価が必要な事業

環境に影響を与えるおそれのある事業について、環境影響評価法が制定され、長野県では地域の事情を考慮した長野県環境影響評価条例を定めています。(96トン/日以上のごみ焼却施設が対象となります。)

ごみ焼却施設



空港



高速道路



ダム



9

環境影響評価で目指すもの

ごみ処理施設の建設による環境上の問題について、皆様のご心配や不安にお応えすること



環境にやさしい施設とすること



安全で安心な生活環境

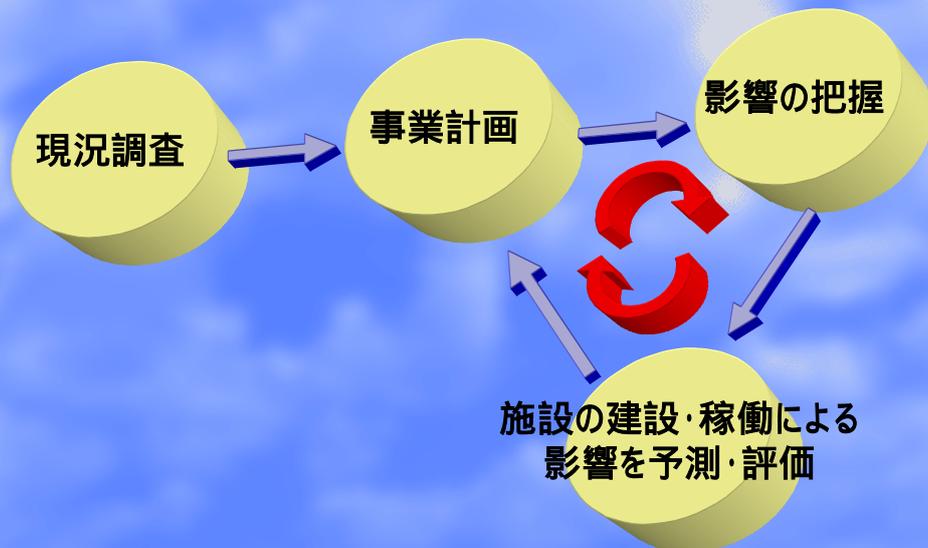
10

環境影響評価で目指す具体的な目的



11

環境影響評価とは



それぞれの段階で、皆様のご意見を伺います

12

環境影響評価を住宅建築に例えると・・・

どんな家を建てようか (事業計画)
どこに建てよう (建設候補地の選出)

周辺の環境はどうだろう (現況調査)
ご近所と仲良くやっていこう (予測と評価)
アドバイスを受ける (関係者からの意見)

設計施工 (都市計画・建設)
居住 (施設稼働)

上記の が環境影響評価にあたります

13

現況調査について

大気中のダイオキシン類や窒素酸化物は？

騒音や振動はあるだろうか？

この辺りの交通量はどのくらいだろうか？

重金属などの土壤汚染は？

現在の環境がどのように
なっているか？

臭気はどうなっているのだろうか？

広範囲にわたり詳細な調査を行います

調査期間は1年以上です

14

現況調査の項目例

「ごみ焼却施設」では、以下の調査項目が想定されます

1. 大気質 (ダイオキシン類、硫黄酸化物等の濃度、上層気象)
2. 振動 (振動レベル及び道路交通振動レベル)
3. 騒音 (騒音レベル及び道路交通騒音レベル)
4. 低周波音 (低周波音レベル)
5. 悪臭 (悪臭物質濃度及び臭気指数)
6. 水質 (周辺河川等の水質)
7. 土壤汚染 (ダイオキシン類や重金属等の濃度)
8. 植物 (周辺の植生や貴重な植物)
9. 動物 (生息する鳥類及び魚類)
10. 景観 (展望及び眺望)
11. 温室効果ガス (温室効果ガスの発生量)

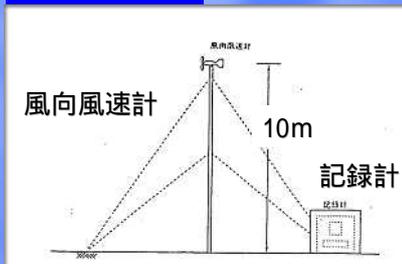
上記以外にも必要な項目について、皆さまと協議して選定します

15

現況調査例(大気)

風向、風速、気温、
湿度、日射量など

地上気象



上層気象

地上から上空にかけて、
100mごとの気象を調査します



大気の状態を調査し、
排ガスの拡散を評価する
ための調査

16

現況調査例(ダイオキシン類)

土壌



環境中のダイオキシン類の濃度
や蓄積を調べるための調査

環境大気



水環境



17

現況調査例(騒音・臭気)

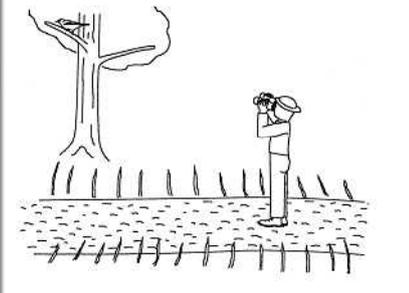


広範囲にわたり、収集車両等が及ぼす騒音や臭気を含め調査します

18

現況調査例(動植物)

動植物調査の様子

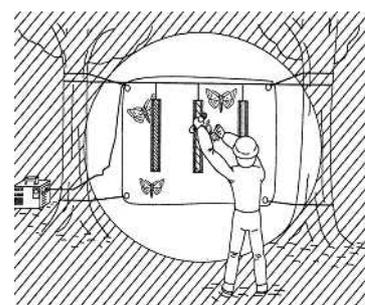


どのような動植物が生息しているかを現地で確認する調査

皆様の疑問

生き物には影響がないの？

動植物調査の様子



夜間のライトアップ

19

予測と評価について

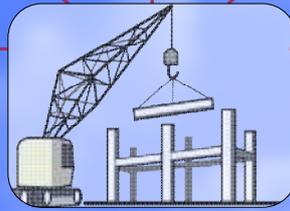
建設中の影響は、どうなのだろう(具体的な例)

工事による
騒音や振動は？

工事による
粉じんは？

工事による
ごみの処理は？

工事による
地下水への
影響は？



工事車両の
走行による
騒音や振動は？

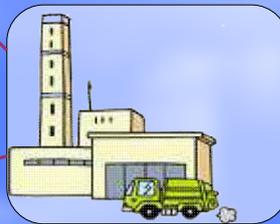
建設中の影響についても予測・評価を行います

20

予測と評価について

施設稼働時の影響は、どうなのだろう(具体的な例)

施設の稼働
による騒音や
振動、臭気は？



排ガス中の
ダイオキシン類
による大気汚染は？

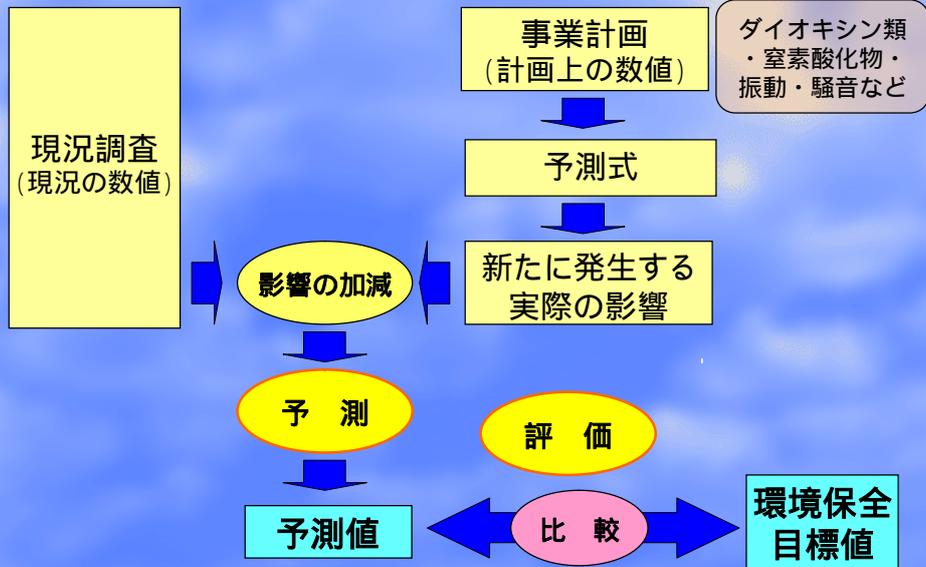
新しい施設
はどのように
見えるの？

ゴミ収集車両の
走行による騒音
や振動、臭いは？

施設稼働時の影響についても予測・評価を行います
また、ゴミ収集車両の通行等による影響についても
予測・評価を行います

21

公害防止関連の予測・評価方法



22

景観の予測・評価方法

事業実施区域



施設がどのように
景観に影響を与え
るかを予測します

皆様の疑問

今の眺めは
どうなるの？

施設の見え方



23

方法書の具体的な記載内容

事業計画の概要と地域の概況(既存資料)

評価項目

選定

大気質・騒音・振動・低周波音
悪臭・水質・土壌汚染・植物
動物・景観・温室効果ガス他

全ての項目について

調査・予測・評価の手法

調査手法

調査の内容・目的・方法・地域・地点・期間など

予測手法

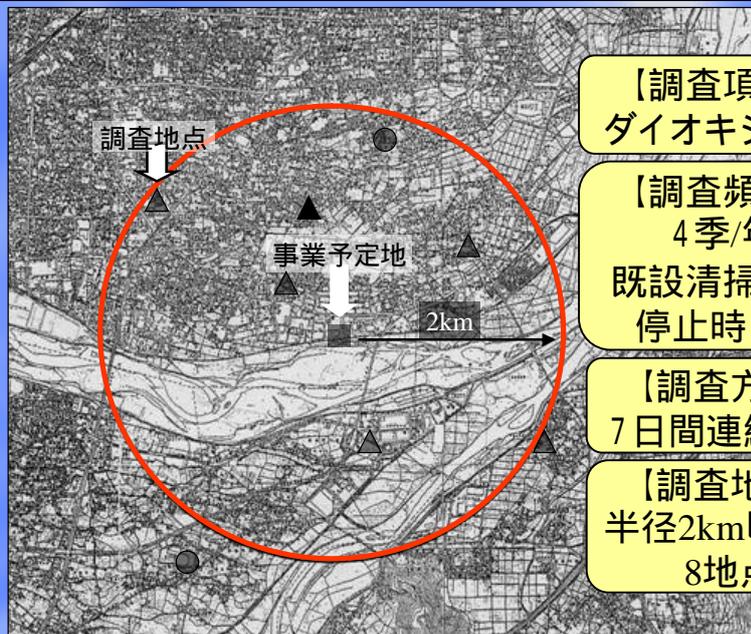
予測の内容・方法・地域・地点・時期など

評価手法

評価の方法及び保全対策の方針など

24

調査手法の具体的な記載例(大気質 環境大気)



【調査項目】
ダイオキシン類

【調査頻度】
4季/年
既設清掃工場
停止時1回

【調査方法】
7日間連続吸引

【調査地点】
半径2km以内の
8地点

25

調査手法の具体的な記載例(大気質 上層気象)



【調査項目】
風向・風速・温度
(鉛直分布等)

【調査頻度】
4季/年
既設清掃工場
停止時1回

【調査方法】
3時間間隔で
3日間測定

【調査地点】
事業予定地内
1地点

26

方法書の手続き

事前説明会の開催(独自実施)

調査項目の選定や調査頻度・調査箇所数などについては
事前に説明会を開催し皆様のご意見をお伺いします

方法書の作成

住民の皆様の意見を踏まえ、具体的な調査の内容や予測・
評価の方法を詳細に記載した方法書を作成します

公告・縦覧

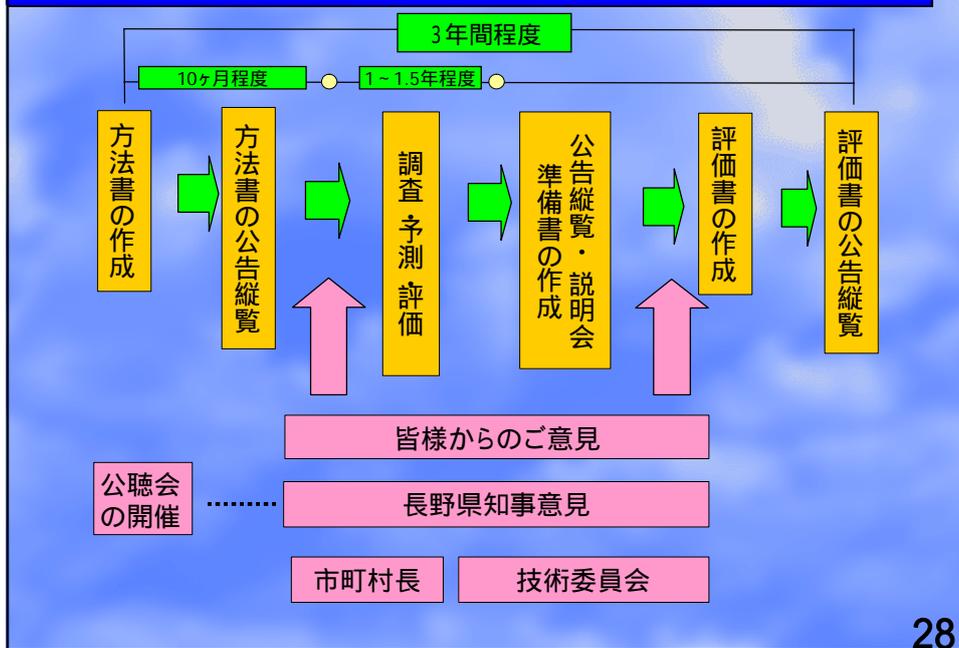
方法書を公開し、皆様のご意見をお伺いします

知事意見

住民の皆様・関係市町村長・技術委員会(学識経験者
等)の意見を踏まえて、知事から意見を伺います

27

長野県条例に基づく環境影響評価の手続きの流れ



環境影響評価をすることで

広範囲にわたる詳細な環境調査で、現況を科学的に把握することができます

この事業が環境に与える影響をできる限り軽減することができます

事業着手後にも評価結果に基づき事業の影響を確認できます

積極的に情報を公開することで、住民の皆様や関係者からの意見を反映した、より環境に配慮した事業になります

また、快適なまちづくりを考えるための資料として活用できます

環境影響評価の基本的な考え方

基本方針

- ・積極的に情報を公開する環境影響評価
- ・地域の意見を十分に反映した環境影響評価
- ・地域の特性に配慮した環境影響評価

具体的な提案

- ・現地調査の見学会を開催
- ・スケジュールや調査結果を常時確認できる場所の設置
- ・定期的な調査報告会の開催
- ・ホームページ等で情報を公開
- ・地元の皆様との意見交換会や説明会の実施

30

皆様のご理解・ご協力をお願いします